

学校名	篠ノ井東中学校	
ホームページURL http://www.city.nagano.nagano.jp/ shinonoihigashijs/	生徒数 501名	
(1) テーマ 「私たちの町篠ノ井」 テーマの分類() 下記の欄外記載事項を参照してください。	(2) 活動の単位に をつけてください 学級・ 同一学年・3～4年 5～6年・学校・ その他() 該当学年 2年 (回答可能な場合)	
(3) 活動のねらい ・自分たちのふるさとである篠ノ井を改めて見直し、そこに生きる地域の方々とふれあひながら、自分たちを取り巻く篠ノ井の自然環境・文化・歴史を学ぶ。		
(4) 活動の実際(活動内容、学習方法、学習形態、学習環境等) ・ふるさと篠ノ井の自然環境・文化・歴史・産業・福祉に関わって、個々でテーマを決めグループに分かれて活動する。 学年全体 調査活動 (個々) テーマ別グループ作り 調査活動 (グループ) 時数(35)		
(5) 指導体制(校内体制、地域人材の活用、安全面での配慮等) ・主として学年職員が中心になって指導していく。自らの足でふるさとを歩き、地域の方とのふれあひを大切にしながら調査活動・体験学習(地域の施設で)を行う。 ・調査活動などでの自転車の使用を認めるが交通には十分気をつけさせる。		
(6) 指導上の留意点(時間数の取り扱い、各教科との連携、家庭・地域との連携等) ・今年度は年間35時間を学年で取り組んでいる。自然環境(千曲川)は理科、文化・産業・福祉関係については主として社会科と連携をとりながら進める。また篠ノ井の町の様々な環境については、そこに住んでいる地域の方々(含 各家庭)からの情報が必要となる。		
(7) 評価(基本的な考え方、評価の内容及び方法、評価の実際) ・文化祭を中間発表の場とした。2年では個々でテーマを決め出せるように努めた。調査活動やまとめの段階を経て発表までの個々の姿をとらえ、次への意欲化につながるような評価をしていく。(自己評価も大切に考える)		
(8) 成果と課題 ・テーマがふるさとの篠ノ井に関わっているので生徒は取り組みやすかったと言える。また、調査体験活動も学校の近くで行える利点があった。初年度ということで指導においての戸惑いもあったが進めながら修正を加え進めてきた。来年度はより具体的な年間計画を立て予算面についても予め見通しを立てておきたい。		

テーマの分類 横断的・総合的な課題(-ア 国際理解 -イ 情報 -ウ 環境
-エ 福祉・健康 -オ その他) 児童生徒の興味・関心に基づく課題 地域や
学校の特色に応じた課題